

第4回 アジアクラブハウス会議報告会 メッセージ

板橋区長 坂本 健

この度は、「第4回アジアクラブハウス会議報告会」の開催、誠におめでとうございます。昨年8月に開催された、第4回アジアクラブハウス会議は、アジアをはじめ世界7か国から約280名の方が参加され、皆さま方のご尽力により、無事終了いたしました。

はじめての日本開催であり、関係の皆さまは、大変ご苦労されたことと思いますが、そのご努力に敬意を表します。

テーマは「アジアクラブハウスのつながりと挑戦」ということで、私も参加させていただきましたが、熱心なご議論をいただき、国を越えて理解を深めた、実り多い大会であったと思います。この会議により、アジアにおけるクラブハウスモデルを共有することで、今後のクラブハウスの発展につながることを期待しています。

さて、精神障がい者のクラブハウスは、世界33カ国に、333か所あるとお聞きしています。日本には、現在6か所のクラブハウスがありますが、日本で最初に開設されたJHC板橋会のクラブハウス「サン・マリーナ」は今年で23周年を迎えます。板橋区では、サン・マリーナの設立に当たり、全国に先駆けて区独自の補助を実施してクラブハウス運営の支援を行い、JHC板橋会との協働により、精神障がい者の福祉の向上に努めてまいりました。

JHC板橋会は、クラブハウスをはじめ、就労支援施設や、地域活動支援センター、グループホームなど、様々な事業所を運営し、精神障がいに関するすべての領域で、支援を行っています。また、どの事業所も、町会・自治会や商店街をはじめとした地域の方々が活動に協力されています。これもJHC板橋会の皆さまが、クラブハウスの活動の柱である「相互支援」と「パートナーシップ」の大切さを、活動を通して伝えていただいているおかげだと思えます。こうした活動の輪が、アジアはもとより、世界各国に広がっていくことを期待しております。

板橋区におきましても、日本やアジアをはじめ、世界のクラブハウスの皆さまとのパートナーシップにより、すべての人がお互いに尊重され、ともに支え合う社会が実現できるように、障がい者施策の推進に努めてまいりますので、ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

結びに、アジアクラブハウス会議の益々のご発展を祈念いたしますとともに、会議の開催にご尽力いただきました、日本クラブハウス連合をはじめ、関係の皆さま方に感謝を申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。